PENTAX®

Optio 33LF

（PC接続編）

デジタルカメラで
撮影した画像を
パソコンで
表示するには



はじめに

本書はペンタックス・デジタルカメラOptio 33LFを使用して撮影した画像をパソコンで閲覧する方法について説明しています。本書をお読みになった後は必ず保管してください。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

商標について

SDロゴは商標です。
PENTAXはペンタックス株式会社の登録商標です。
オプティオおよびOptioはペンタックス株式会社の登録商標です。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。
QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTimeは、米国その他の国で登録された商標です。

本製品はPRINT Image Matching IIに対応しています。PRINT Image Matching II対応プリンタでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。PRINT Image Matching及びPRINT Image Matching IIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

●本書で使用されている表記の意味は次のようになっています。

☞	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。

本文中のパソコンの画像表示は、パソコンの種類によって異なる場合があります。

目次

撮影した画像の使い方

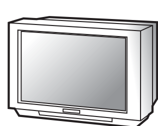
デジタルカメラで撮影した画像の活用方法です。

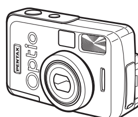
お使いのコンピュータは. . .
- USBインターフェイスを標準装備
- OSはMe/2000/XP
  MacOS9.0以降

テレビで見る

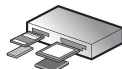
カメラとテレビをAVケーブルでつないで画像を表示して楽しみます。

カメラとコンピュータをUSBケーブルで接続してカメラの画像をコンピュータにコピーします。





☞「Optio 33LF」の使用説明書（P.80）



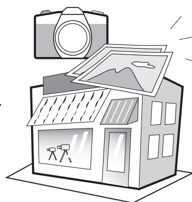


お使いのコンピュータは. . .
- Windows95/98 SE/NT、
  MacOS8.6以前

お店でプリント

カードの画像をプリントショップでプリントします。

内蔵カードスロット＋PCカードアダプタ、カードリーダーなどを使って画像を転送します。
- カードを取り出して他の機器で転送する場合は、ご利用の機器の使用説明書もご覧ください。



- カメラでDPOF設定をしてプリントショップでプリント
  ☞「Optio 33LF」の使用説明書（P.81）
- ショップでプリントする画像を選ぶ

インターネットで活用

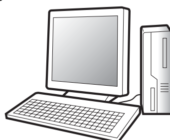
コンピュータのメールソフトを利用してメールに添付して送ったり、ホームページの素材として利用したりします。



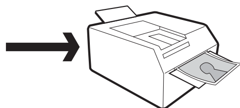
- メールへの添付方法などについては、ご使用のメールソフトの説明書をご覧ください。
- ホームページの素材としてご利用の場合は、ご使用のソフトの説明書をご覧ください。

ACDSee for PENTAX
☞ P.17～33
•画像の表示
•画像の編集
•展開画像の保存
•メールでの画像送付
•画像の加工
•画像の印刷

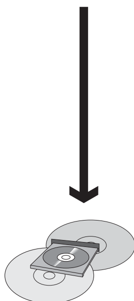
※ これらの作業は、市販の画像編集ソフトでも行なうことができます。
- 詳細については、ご利用の市販ソフトの説明書をご覧ください。



印刷する



コンピュータの画像をプリンタで印刷します。
プリンタによっては、直接カードから印刷できるタイプもあります。
- 詳細についてはご利用のプリンタの説明書をご覧ください。



コンピュータに転送した画像はCD-Rなどに記録して保存できます。

Windowsパソコンでデジタルカメラの画像を見る

付属のUSBケーブル（I-USB2）やカードリーダーなどでデジタルカメラの画像をパソコンに転送し、画像閲覧用ソフトウェアを使用して撮影した画像をパソコンで編集・プリントできます。ここでは、付属のソフトウェア（S-SW12）を使用して画像を見る方法を説明します。

添付ソフトウェアのご紹介

付属のCD－ROM（S-SW12）には、次のソフトウェアが含まれます。

- 画像閲覧・編集用ソフト（ACDSee for PENTAX）
- QuickTime

システム環境

●USB接続

- OS　Windows Me/2000/XP（Home edition/professional）
- USBマスストレージクラス対応
- USB1.1
- ※対応OSについてはドライバのインストールは必要ありません。

●アプリケーションソフト

＜ACDSee for PENTAX＞（7ヶ国語対応：日、英、独、仏、西、伊、繁体中国語）

- OS　Windows 98/ME/NT（最新版）/2000/XP
- CPU　Pentium以降を推奨
- メモリ　64 MB 以上
- ハードディスクの空き容量　40 MB以上
- 256色以上表示可能なディスプレイ アダプタ
- Internet Explorer 4.0.2以降
- 一部のフォーマットを表示させるためには、QuickTime　6.0以降、DirectX 8.0以降が必要となることがあります。
- ACDSeeをインストールするためには、Windows Installer ServiceのVersion 2.0が必要となることがあります。

＜QuickTime＞（6ヶ国語対応：日、英、独、仏、西、伊）

- OS　Windows 98/NT/Me/2000/XP
- CPU　Pentium以降を推奨
- メモリ　128MB以上

●動画

- AVI（Motion JPEG）に準拠
- 動画は、同梱ソフトウェア「ACDSee for PENTAX」（QuickTime™インストール必要）でご覧になれます。

注意　カメラをパソコンに接続するには、ACアダプタキットK-AC5Jのご使用をお奨めします。画像の転送中に電池が消耗すると、画像データが壊れることがあります。

画像処理ソフトウェア（ACDSee for PENTAX）をインストールする

撮影した画像を閲覧・編集するためのソフトウェア（ACDSee for PENTAX）をインストールします。

注意

Windows 2000およびWindows XPで複数のアカウントを設定している場合は、administrator（管理者）権限でログオンしてからインストールを始めてください。

1　パソコンの電源を入れる

2　付属のCD-ROM（S-SW12）をパソコンのCD-ROMドライブにセットする

3　デスクトップ画面から「マイコンピュータ」をダブルクリックする

4　CD-ROMドライブ（S-SW12）のアイコンをダブルクリックする

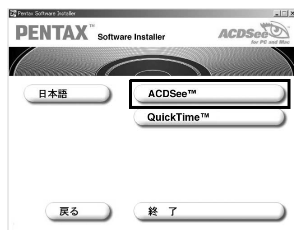
5　「Setup.exe」のアイコンをダブルクリックする

6　「日本語」をクリックする

インストールするソフトウェアの選択画面が表示されます。



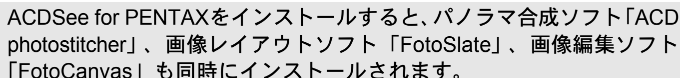
7　「ACDSee™」をクリックする



セットアップ画面が表示されます。画面の指示に従い、登録情報を入力し、インストール作業を進めてください。インストールが完了したら、Windowsを再起動してください。



- 図のようなメッセージが表示されたら、「QuickTime をインストール」をクリックしてQuickTime6.0を先にインストールしてください。



ACDSee for PENTAXをインストールすると、パノラマ合成ソフト「ACD photostitcher」、画像レイアウトソフト「FotoSlate」、画像編集ソフト「FotoCanvas」も同時にインストールされます。

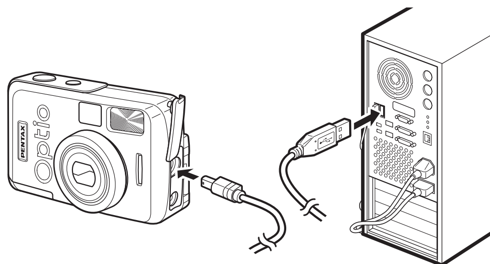
デジタルカメラの画像をパソコンに表示・コピーする

ここではACDSee for PENTAXを利用して、画像を表示・コピーする方法を説明します。

1　パソコンの電源を入れる

2　カメラの電源をオフにして、USBケーブルでパソコンとカメラを接続する

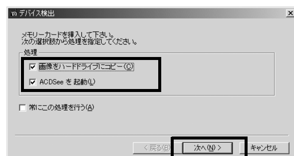
SDメモリーカード／マルチメディアカードに記録された画像を表示・コピーする場合は接続する前に、カメラにカードが入っていることを確認してください。
内蔵メモリに記録された画像を表示・コピーする場合は、カメラからカードを取り外してからパソコンと接続します。



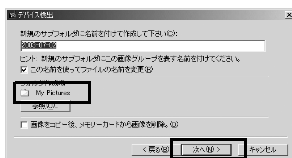
3　カメラの電源をオンにする

自動的に「デバイス検出」の画面が表示されます。
「デバイス検出」が表示されない場合は、8ページの「デバイス検出が表示されない場合」の手順に従って、画像を表示・コピーしてください。

4　「画像をハードドライブにコピー」「ACDSeeを起動」がチェックされていることを確認して、「次へ」をクリックする



5 「フォルダ作成場」が「My Pictures」になっていることを確認して、「次へ」をクリックする



画像がパソコンにコピーされ、ACDSee for PENTAXのブラウザが起動します。

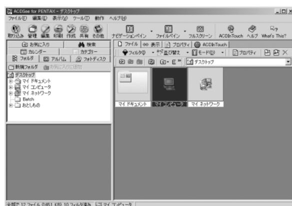


「デバイス検出」が表示されない場合

4 デスクトップ画面の「ACDSee for PENTAX」アイコンをダブルクリックする



5 「マイコンピュータ」をダブルクリックする



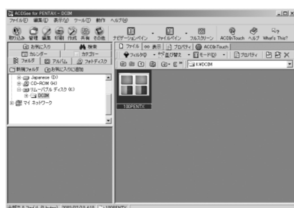
6 「リムーバブルディスク」（SDメモリーカードにボリュームラベル名が記載されている場合はその名称）をダブルクリックする



7 「DCIM」フォルダをダブルクリックする



8 「XXXPENTX」(XXXは、3桁の数字)フォルダをダブルクリックする



9 画像一覧から画像を選ぶ



＜ブラウザ＞

選んだ画像をダブルクリックすると、大きく表示されます(ビューア)。



＜ビューア＞

10 画像一覧(ブラウザ)または一画像表示(ビューア)でコピーしたい画像を選ぶ

11 「編集」メニューから「フォルダへコピー」を選ぶ

「ファイルをコピー」の画面が表示されます。

12 「詳細>>」をクリックしてコピー先のフォルダを選ぶ

13 「OK」をクリックする

画像がパソコンにコピーされます。

パソコンからカメラを取り外す

Windows 2000/Me

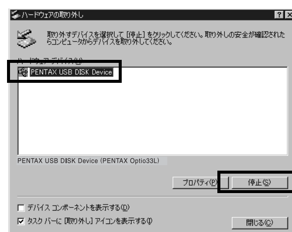
1　デスクトップ右下のステータスバーの（ホットプラグアイコン）をダブルクリックする

「ハードウェアの取り外し」画面が表示されます。



2　「PENTAX USB DISK Device」が選択されていることを確認して「停止」をクリックする

「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。



3　「PENTAX USB DISK Device」が選択されていることを確認して「OK」をクリックする

メッセージが表示されます。



4　「OK」をクリックする



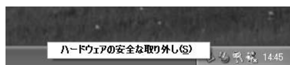
5　USBケーブルをパソコンとカメラから取り外す



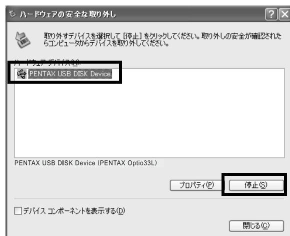
パソコンに接続していて、カメラのステータスランプ（緑）が点灯していると、パソコンがカメラの画像データを読み込んでいます。この状態でカメラを取り外すと、画像データが壊れてしまいます。
手順4で万が一、エラーメッセージが表示されたら、ステータスランプが消えていることを確認して、取り外してください。

Windows XP

1 タスクバーの「ハードウェアの取り外し」アイコンをダブルクリックする



2 「PENTAX USB DISK Device」をクリックして「停止」をクリックする



3 「PENTAX USB DISK Device」をクリックして「OK」をクリックする



4 取り外し許可のメッセージが表示されたら、カメラの電源をオフにして、カメラをパソコンから取り外す



Macintoshでデジタルカメラの画像を見る

付属のUSBケーブル（I-USB2）やカードリーダーなどでデジタルカメラの画像をMacintoshに転送し、画像閲覧用ソフトウェアを使用して撮影した画像をMacintoshで編集・プリントできます。ここでは、付属のソフトウェア（S-SW12）を使用して画像を見る方法を説明します。

添付ソフトウェアのご紹介

付属のCD－ROM（S-SW12）には、次のソフトウェアが含まれます。

- 画像閲覧用ソフト（ACDSee for PENTAX）

システム環境

●USB接続

- OS　Mac OS 9.0以降
- USBマスストレージクラス対応
- USB1.1
- ドライバのインストールは必要ありません。

●アプリケーションソフト

＜ACDSee for PENTAX＞（6ヶ国語対応：日、英、独、仏、西、伊）

- OS　Mac OS 8.6以上（QuickTime 4.0以上およびCarbonLib最新版が必要）
- CPU　Power Macintosh 266MHz 以上
- メモリ　8MB以上
- ハードディスクの空き容量6MB以上

●動画

- AVI（Motion JPEG）に準拠
- 動画は、同梱ソフトウェア「ACDSee for PENTAX」（QuickTime™インストール必要）でご覧になれます。

注意

カメラをMacintoshに接続するときは、ACアダプタキットK-AC5J のご使用をお奨めします。画像の転送中に電池が消耗すると、画像データが壊れることがあります。

画像閲覧用ソフトウェア（ACDSee for PENTAX）をインストールする

1 Macintoshの電源を入れる

2 付属のCD-ROM（S-SW12）を、MacintoshのCD-ROMドライブにセットする

3 CD-ROM（S-SW12）のアイコンをダブルクリックする

4 「Install ACDSee™」のアイコンをダブルクリックする

画面上に「PENTAX Software Installer」の画面が表示されます。
「Master Installer」のアイコンが表示されたら、そのアイコンをダブルクリックすると、「PENTAX Software Installer」の画面が表示されます。

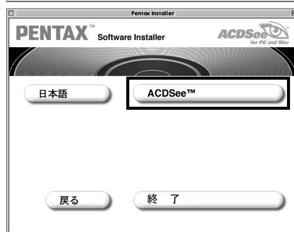
5 「日本語」をクリックする

インストールするソフトウェアの選択画面が表示されます。



6 「ACDSee™」をクリックする

セットアップ画面が表示されます。画面の指示に従い、登録情報を入力し、インストール作業を進めてください。
インストールが完了したら、「再起動」をクリックしてMacintoshを再起動させてください。





インストール中に「CarbonLib-xxxxx-が見つからない」のメッセージが表示されたら…
Mac OS 8.6～9.2上で付属のソフトウェアをインストールするには“CarbonLib”という機能拡張ファイルをシステムフォルダ内の機能拡張フォルダに追加しておく必要があります。
この機能拡張ファイルが存在しないか、またはバージョンが古い場合にこのエラーが表示されます。
CarbonLibの最新バージョンはアップル社のWebサイトで公開されていますので、ダウンロードの上、Mac OSにインストールを行なってください。
アップル社のサイト : http://www.Apple.co.jp/
※ CarbonLibの詳しい使用方法につきましてはアップル社へお問合せください。

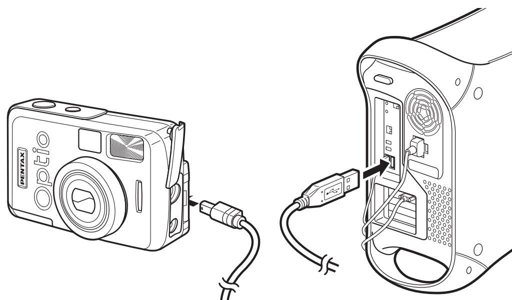
デジタルカメラの画像をMacintoshに表示する

画像をMacintoshに表示する

1　Macintoshの電源を入れる

2　カメラの電源をオフにして、USB ケーブルでMacintoshとカメラを接続する

SDメモリーカード／マルチメディアカードに記録された画像を表示・コピーする場合は接続する前に、カメラにカードが入っていることを確認してください。
内蔵メモリに記録された画像を表示・コピーする場合は、カメラからカードを取り外してからMacintoshと接続します。



3　カメラの電源をオンにする

カメラはデスクトップ上の「名称未設定」（OS Xの場合は「NO_NAME」）として認識されます。フォルダ名は変更できます。



4　デスクトップ画面の「ACDSee for PENTAX」フォルダをダブルクリックする

5　「ACDSee for PENTAX」のプログラムアイコンをダブルクリックする

画像一覧（ブラウザ）が表示されます。

6　カメラのフォルダを選ぶ

カメラの画像はデスクトップ上の「名称未設定（SDメモリーカードにボリュームラベル名が記載されている場合はその名称）」→「DCIM」→「XXXPENTX」（XXXは、3桁の数字）フォルダの中にあります。
カメラの画像一覧が表示されます。

7　画像一覧で画像を選ぶ

選んだ画像をダブルクリックすると、大きく表示されます（ビューア）。



SDメモリーカードにボリュームラベルがついていると、「名称未設定」と表示されずにボリュームラベル名に記載されている内容が表示されます。フォーマットされていない新しいSDメモリーカード/マルチメディアカードは、メーカー名や型番が表示される場合があります。

画像をMacintoshにコピーする

画像をコピーする方法については、Macintoshの使用説明書をご覧ください。また、画像を編集するときは、Macintoshに画像をコピーしてから編集してください。

Macintoshからカメラを取り外す

1　デスクトップ上の「名称未設定（SDメモリーカードにボリュームラベル名が記載されている場合はその名称）」をごみ箱にドラッグする

2　USBケーブルをMacintoshとカメラから取り外す

ACDSee for PENTAXについて

「ACDSee for PENTAX」はデジタルカメラの画像を取得、整理、表示、加工、共有するための包括的ソフトウェアです。
ブラウザ（☞ p.18）を使用して、デジタルカメラの画像を効率良く取得し、お好みの方法で整理し、サムネイル形式でプレビューすることができます。
ビューア（☞ p.25）では、一枚の画像を大きく表示することができます。

またWindowsパソコンの場合、付属のCD-ROM（S-SW12）に含まれている「ACDSee for PENTAX」をパソコンにインストールすると、パノラマ合成ソフト「ACD photostitcher」（☞ p.27）、画像レイアウトソフト「FotoSlate」、画像編集ソフト「FotoCanvas」も同時にインストールされます。これらのソフトウェアを使用し、より高度で自由な、画像作成、編集、加工を楽しむことができます。

なお本書では、「ACDSee for PENTAX」のごく基本的な機能について述べています。「ACDSee for PENTAX」の詳しい機能については、インストールした「ACDSee for PENTAX」のヘルプをご覧ください。またMacintoshをお使いの場合、Macintosh版「ACDSee for PENTAX」の機能については、「ACDSee for PENTAX」のヘルプをご覧ください。

ACDSee for PENTAXを起動する

Windowsの場合

1 デスクトップ画面の「ACDSee for PENTAX」アイコンをダブルクリックする
ACDSee for PENTAXが起動し、画像一覧（ブラウザ）が表示されます。

Macintoshの場合

1 デスクトップ画面の「ACDSee for PENTAX」フォルダをダブルクリックする
2 「ACDSee for PENTAX」のプログラムアイコンをダブルクリックする
ACDSee for PENTAXが起動し、画像一覧（ブラウザ）が表示されます。

ACDSee for PENTAXを終了するには

ブラウザまたはビューアの「ファイル」メニューから「終了」を選択します。

画像を一覧で見る（ブラウザ）

「ACDSee for PENTAX」では、一覧形式で画像を表示するブラウザと、一枚ずつ表示するビューアのいずれかの方法で画像を見ることができます。
「ACDSee for PENTAX」を起動すると、ブラウザが表示されます。

ブラウザについて

ブラウザの構成、名称、機能について説明します。

Windowsの場合



①メニューバー
ACDSee for PENTAXの多様な機能の実行や各種設定を行います。

②ブラウザツールバー
頻繁に使われる機能やツールのショートカットボタンを表示します。これらのコマンドボタンをクリックすると、ダイアログボックスやコマンド拡張ボタンが表示されます。
また、ボタンのサイズやラベルの表示位置を変えたり、表示するボタンを選ぶことで、カスタマイズすることができます。

③ナビゲーションペイン
コンピュータや外部ドライブなどのフォルダツリーを表示します。
ナビゲーションペインには、フォルダ／カレンダー／カテゴリー／フォトディスク／アルバムタブがあります。タブを選ぶと、タブ内の画像がファイルペインに表示されます。また、タブを使い、ファイルやフォルダの管理をすることができます。

④プレビューペイン
ファイルペインで選ばれている画像が表示されます。

⑤ファイルリストツールバー
ショートカットボタンを使い、ファイルペインに表示するファイルやフォルダの選択、画像の移動や削除、並び替えができます。
パスボックスを表示すると、ファイルペインに表示されている画像が格納されているフォルダの場所が分かります。
また、ボタンのサイズやラベルの表示位置を変えたり、表示するボタンを選ぶことで、カスタマイズすることができます。

⑥ファイルペイン
ナビゲーションペインで選ばれたフォルダ内の画像を、リスト形式やサムネイル形式で表示します。
ファイルは名前順、拡張子名順、サイズ順、日付順などに並び替えることができます。

⑦ステータスバー
選ばれているファイルやフォルダのプロパティが表示されます。



これらの項目が表示されない場合は、「表示」メニューから、表示させたい項目に☑を入れてください。

Macintoshの場合



①メニューバー
ACDSee for PENTAXの多様な機能の実行や各種設定を行います。

②ブラウザツールバー
頻繁に使われる機能やツールのショートカットボタンを表示します。これらのコマンドボタンをクリックすると、ダイアログボックスやコマンド拡張ボタンが表示されます。

③ナビゲーションペイン
コンピュータや外部ドライブなどのフォルダツリーを表示します。

④プレビューペイン
ファイルペインで選ばれている画像が表示されます。

⑤ファイルペイン
ナビゲーションペインで選ばれたフォルダ内の画像を、リストやサムネイル形式で表示します。
ファイルは名前順、サイズ順、日付順などに並び替えることができます。

ブラウザの表示方法を変更する

ブラウザに表示される画像一覧の表示方法を6通りの中から選ぶことができます。
「表示」メニューの「モード」を選択し、サブメニューから表示方法を選択します。選択できる表示方法には、以下のようなものがあります。

サムネイル＋詳細
画像ファイルのサムネイルとファイル情報をリスト形式で表示します。表示するファイル情報は変更することができます。（☞ p.24）

サムネイル
画像ファイルのサムネイルを表示します。

大きいアイコン
大きいアイコンとファイル名を表示します。

小さいアイコン
小さいアイコンとファイル名を表示します。

一覧
小さいアイコンとファイル名をリストで表示します。

詳細
小さいアイコンとファイル情報をリスト形式で表示します。表示するファイル情報は変更することができます。（☞ p.24）

他のフォルダの画像を見る

他のフォルダにある画像を見る場合は、ブラウザのナビゲーションペインのフォルダツリーで見たいフォルダを選択するか、パスボックスで直接指定します。

フォルダツリーで他のフォルダを選択する

フォルダツリーにあるフォルダを選択すると、それが現在のフォルダとして指定され、そのフォルダにある画像がファイルペインに表示されます。

サブフォルダを表示するには

フォルダにサブフォルダがある場合、フォルダアイコンの隣に、+が表示されます。+をクリックすると、サブフォルダが表示されます。サブフォルダが表示されているフォルダには−が表示されます。−をクリックすると、サブフォルダを隠すことができます。

ブラウザツールバーのボタンで他のフォルダを選択する

ブラウザツールバーの をクリックすると、現在表示されているフォルダの一階層上のフォルダ内容を見ることができます。
 をクリックすると、現在表示されているフォルダの前に表示していたフォルダ内容を見ることができます。
 で表示フォルダを変更した場合、現在表示されているフォルダの次に表示したフォルダに戻るには、 をクリックします。

パスボックスで他のフォルダを指定する

「表示」メニューの「パスボックス」を選ぶと、ファイルペインにパスボックスが表示されます。見たい画像のあるフォルダの名称（パス）をパスボックスに直接入力すると、ファイルペインにそのフォルダにある画像が表示されます。
また、パスボックス 右の をクリックすると、最近使用したフォルダの履歴がドロップダウンリストとして表示されます。リストから見たい画像のあるフォルダを選ぶと、ファイルペインにそのフォルダにある画像が表示されます。

画像ファイルを並び替える

ファイルペインに表示される画像ファイルの順番を並び替えることができます。

並び替える項目を選ぶ

「表示」メニューの「並び替え」を選択し、サブメニューから整列のキーとなる項目を選択します。
選択できる項目には、以下のようなものがあります。
拡張子順、名前順、サイズ順、タイプ順、日付順、画像プロパティ順、詳細順

昇順/降順を指定する

「表示」メニューの「並び替え」を選択し、サブメニューから「昇順」または「降順」を選択します。



- ファイルペインの背景部分（画像がサムネイルやアイコンで表示されていない空白部分）をマウスの右ボタンでクリックすると、カーソルの位置にメニューが表示されます。ここからも同じ手順で並び替えることができます。
- Macintoshの場合は、ファイル名順、ファイルサイズ順、イメージタイプ順、日付順、逆順に整列のなかから選択できます。

キーボードから並び替える

キーボードのテンキーを使い、画像ファイルの並び替え、昇順/降順を指定することもできます。
0:拡張子順、1:名前順、2:サイズ順、3:タイプ順、4:日付順、
5:画像プロパティ順、6:詳細順、+:昇順、-:降順



テンキーを使って並び替える場合は、キーボードの「NumLock」キーを押して、NumLockをオンにしてください。

詳細表示項目を設定する

ファイルペインが詳細表示の場合、リストに表示する項目を指定したり、項目列の順番を並べ替えることができます。

表示する項目を設定する

「表示」メニューの「列」を選択し、サブメニューからリストに表示する項目を選択します。
選択できる項目には、以下のようなものがあります。
サイズ、種類、日付、画像プロパティ、説明

なお、非表示にする場合は、項目を再選択し、チェックをはずします。



ファイルリストの列ヘッダー部分（名前、サイズなどの項目が書かれた部分）をマウスの右ボタンでクリックすると、メニューが表示されます。ここからも同じ手順で表示項目を設定することができます。

表示項目列の幅を調整する

リストに表示される文字数に合わせ、列の幅を調整することができます。列ヘッダーの区切りの部分にマウスカーソルを合わせ、カーソルが左右矢印の形に変わったら、ドラッグし、列の幅を調整します。



列ヘッダーの区切りの部分をマウスの左ボタンでダブルクリックすると、リストの文字数に合わせて、列の幅が自動調整されます。

画像を一枚ずつ大きく見る（ビューア）

ブラウザで選択した一枚の画像ファイルをダブルクリックすると、その画像が大きく表示されます（ビューア）。動画の場合は動画が再生されます。

ビューアについて

ビューアの構成、名称、機能について説明します。



①メニューバー
ACDSee for PENTAXの多様な機能の実行や各種設定を行います。

②ビューアツールバー
ズームなど頻繁に使われるツールのショートカットボタンを表示します。
また、ボタンのサイズやラベルの表示位置を変えたり、表示するボタンを選ぶことで、カスタマイズすることができます。

③ビューアペイン
画像がフル解像度で一枚ずつ表示されます。

④ステータスバー
表示されている画像ファイルのプロパティが表示されます。



ビューアが表示されているときに、以下のような操作をすると、ビューアを閉じてブラウザに切り替わります。
- ×（閉じる）ボタンをクリックする。
- ビューアペインの範囲をダブルクリックする。
- キーボードの「ESC」キーを押す。

ACD photostitcherでパノラマ合成をする

Windowsパソコン上でACD photostitcherを使うと、パノラマアシストモードで撮影した画像をパノラマ合成することができます。
説明用の画面に表示されるフォルダや画像の名前はお使いになっているパソコンの環境によって異なります。

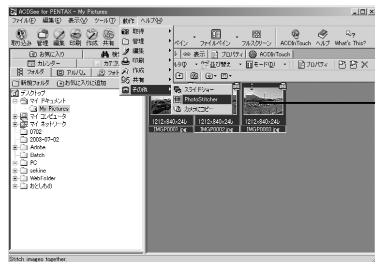
注意
Windows 2000およびWindows XPで複数のアカウントを設定している場合は、administrator（管理者）権限のあるアカウントでログオンしてからご使用ください。

1 ACDSee for PENTAXを起動させる

画像一覧が表示されます。

2 画像一覧で、パノラマ合成したい写真を選択する

キーボードの［Ctrl］キーを押して、写真をクリックしながら複数の画像を一度に選択します。
画像を選択後、メニューバーから「動作」の「その他」を選択し、サブメニューから［ACD photostitcher］を選択します。
画像を2枚以上選択していない場合［ACD photostitcher］は有効になりません。

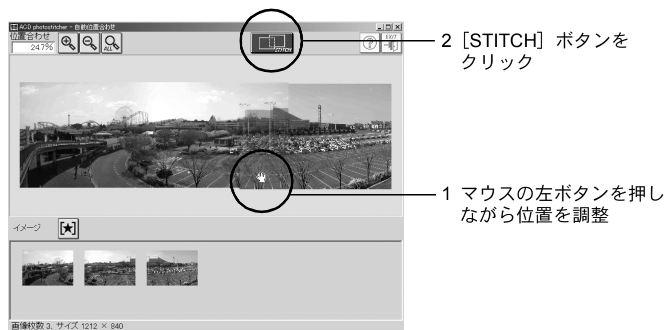


画像を選択

注意
- パノラマ合成にはWindowsパソコンが必要です。
（ACD photostitcherはMacintoshには対応していません）
- 記録サイズの異なる画像はパノラマ合成ができません。

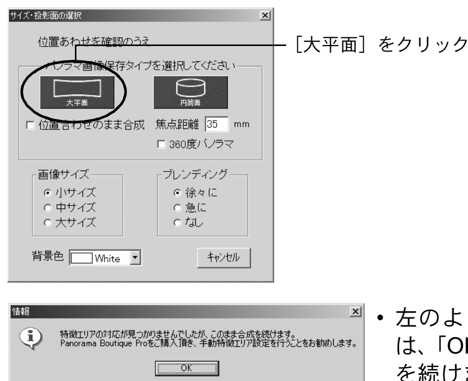
3　写真の位置を修正する

「ACD photostitcher」が起動し、選択した画像がパノラマの状態で表示されます。
写真の上にマウスポインタを置くと、✋マークに変わります。
マウスの左ボタンを押しながら、それぞれの画像を移動させて合成位置を調整します。
位置を調整後、［STITCH］ボタンをクリックします。



4　合成方法を選ぶ

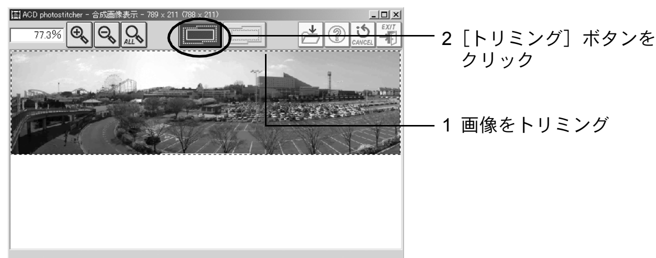
合成方法には「大平面」と「円筒面」があります。ここでは、平面のパノラマを作成するので、［大平面］ボタンをクリックします。
確認のメッセージが表示されるので［OK］をクリックします。



• 左のような表示がされた場合は、「OK」をクリックして作業を続けます。

5 画像をトリミングする

画像を囲んでいる点線にマウスポインタを置くと、↕マークに変わります。マウスの左ボタンを押しながら点線を移動させて画像のトリミング範囲を設定します。
範囲を設定後［トリミング］ボタンをクリックします。



6 画像を保存する

トリミングを確認後、［保存］ボタンをクリックし、画像を保存します。トリミングを取り消す場合は［トリミングのキャンセル］ボタンをクリックしてください。
画像を保存後は、必要に応じてACD photostitcherとACDSee for PENTAXを終了してください。



画像を印刷する

ブラウザやビューアから画像ファイルを印刷することができます。

ブラウザから印刷する

ブラウザからは一画像でも、複数の画像でも印刷できます。

1　印刷する画像を選ぶ

複数の画像を印刷するときは、キーボードの「Ctrl」キーを押して、写真をクリックしながら、印刷する画像を一度に選択します。

2　「ファイル」メニューから「画像の印刷」を選ぶ

「印刷」画面が表示されます。

3　必要に応じて各種設定を行う

4　「印刷」をクリックする

ビューアから印刷する

ビューアからは現在表示されている画像や、その画像を含むフォルダ内の全画像を印刷できます。

1　現在表示されている画像を印刷するときは、「ファイル」メニューから「画像の印刷」を選ぶ

現在表示されている画像を含むフォルダ内の全画像を印刷するときは、「ファイル」メニューから「すべての画像を印刷」を選ぶ

「印刷」画面が表示されます。

2　必要に応じて各種設定を行う

3　「印刷」をクリックする

日付を入れて印刷するには

画像ファイルに日付を入れて印刷することができます。日付を入れる設定は、「印刷」画面で行います。



1 **「印刷」画面の「キャプション」タブを選ぶ**

2 **「画像の取得日付を画像の隅に印刷する」チェックボックスにチェックを入れる**

コンタクトシートを作成し、印刷する

コンタクトシートを作成し、印刷することができます。それぞれの画像にラベルを貼ったり、タイトルをつけたり、画像のサイズを変えたりすることができます。

1 **ブラウザで、コンタクトシートにする画像を選ぶ**

キーボードの「Ctrl」キーを押して、写真をクリックしながら、印刷する画像を選びます。

2 **「ファイル」メニューから「コンタクトシートの印刷」を選ぶ**

「コンタクトシート印刷」画面が表示されます。

3 **必要に応じて各種設定を行う**

4 **「OK」をクリックする**

「コンタクトシート印刷」画面の「ヘルプ」ボタンをクリックすると、コンタクトシートの作成・印刷についてより詳しく知ることができます。

画像をメールで送る

ACDSee for PENTAXから直接画像をメールで送ることができます。（「電子メールアカウント」の設定が必要です。詳しくはACDSee for PENTAXの「ヘルプ」をご覧ください。）
画像ファイルはJPEG形式に変換され、e-mailの添付ファイルとして送信されます。画像サイズが大きい場合は縮小して送信されますが、元の画像を変更することはありません。

注意 メール機能はMacintoshには対応していません。

1 ブラウザで、送信する画像を選ぶ（複数でも可）

複数選ぶ場合は、キーボードの「Ctrl」キーを押して写真をクリックしながら、一度に選択します。



2 「動作」メニューから「共有」を選び、「電子メール」を選ぶ

メールの送信画面が表示されます。

3 「宛先」など、必要な情報を入力する

4 「送信」をクリックする

メールの送信画面の「ヘルプ」ボタンをクリックすると、画像のメール送信についてより詳しく知ることができます。



ご使用のメールサーバのセキュリティ設定によっては、エラーが表示されて、メールが送信できない場合があります。

ACDInTouchについて

ACDInTouchは、インターネットを使用して、ACDSee for PENTAXの最新情報を表示します。特別オファーや無料のデジタルイメージングリソース、ニュースレター、サブスクリプションなどに関する情報にアクセスできます。

ACDInTouchに接続するには

1 「ヘルプ」メニューから「ACDInTouch」を選ぶ
「ACDInTouchに接続」画面が表示されます。
2 「今すぐ接続」をクリックする

ACDInTouchサービスについて

ACDInTouchはデータ交換サービスです。接続時に情報が送信されるので、ACDInTouchペインで直接最新情報を読み取ることができます。この情報は、皆様のご興味のあるACD Systemsからのアップグレード、アドオン、および関連ソフトウェアなど、使用中の製品に直接関連しています。

ACD Systemsのプライバシーポリシーについては、以下のWebサイトを参照してください。

http://www.panda.co.jp/products/acd/

お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス **http://www.pentax.co.jp/**

お客様相談センター（弊社製品に関するお問い合わせ）

〒174-8639 東京都板橋区前野町2-36-9
営業時間午前9：00～午後6：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）
0570-001313（市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話、PHSの方は、下記の電話番号をご利用ください。
☎03-3960-3200（代）　**☎03-3960-0887** デジタルカメラ専用

［ショールーム・写真展・修理受付］

ペンタックスフォーラム **☎03-3348-2941（代）**
〒163-0401 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1階（私書箱240号）
営業時間午前10：30～午後6：30（年末年始および三井ビル点検日を除き年中無休）

［修理受付］

ペンタックス札幌営業所お客様窓口 **☎011-612-3231（代）**
〒060-0010 札幌市中央区北10条西18-36 ペンタックス札幌ビル2階
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス仙台営業所お客様窓口 **☎022-371-6663（代）**
〒981-3133 仙台市泉区泉中央1-7-1 千代田生命泉中央駅ビル5階
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス名古屋営業所お客様窓口 **☎052-962-5331（代）**
〒461-0001 名古屋市東区泉1-19-8 ペンタックスビル3階
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス大阪営業所お客様窓口 **☎06-6271-7996（代）**
〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス広島営業所お客様窓口 **☎082-234-5681（代）**
〒730-0851 広島市中区榎町2-15 榎町ビュロー 1階
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス福岡営業所お客様窓口 **☎092-281-6868（代）**
〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町3-8 パールビル2階
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

［宅配便・郵便修理受付・修理に関するお問い合わせ］

ペンタックスサービス（株）東日本修理センター **☎03-3975-4341（代）**
〒175-0082 東京都板橋区高島平6-6-2 ペンタックス（株）流通センター内
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスサービス（株）西日本修理センター **☎06-6271-7996（代）**
〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）



for your
precious moments

ペンタックス株式会社
〒174-8639 東京都板橋区前野町2-36-9
ペンタックス販売株式会社
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1

☆この説明書には再生紙を使用しています。
☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

57284
01-200310
Printed in Japan